

やあめ



議長新年あいさつ

旧東小跡地周辺の利活用

木材流通センター設立へ出資

- 一般質問
- 議会のヒトコマ
- 新成人メッセージ



議長新年挨拶



五木村議会 議長
岡本 正

村民の皆様、

明けましておめでとうございます。
ご家族お揃いで輝かしい新年を
お迎えのこととお喜び申し上げます。

年頭に当たり、村議会を代表しまして、ご挨拶を申し上げます。

昨年を振り返りますと、台風や豪雨で北海道や九州北部など、全国的に甚大な災害が発生しましたが、幸いに本村では大きな被害もなく安堵したところがあります。

本村では平成27年11月から長い期間交通止めとなっておりました国道445号（瀬目トンネル）が、昨年7月に全面開通となり、国道445号九折瀬・神屋敷間の道路改築工事も着工されております。

また、安全で安心して住み続けるための宮園砂防堰堤が完成し、九折瀬砂防堰堤も一部が完成しております。

村政では、交流人口を増やすための施策であります歴史文化交流館が4月にオープンし、水没予定地利用計画の東部エリアが一部着工いた

しております。

村議会も昨年7月の改選で、議会改革により定数が10人から8人となりましたが、全議員がその職責の重さを認識して、新たな気持ちで村づくりに取り組んでおります。

8月には11回目の国、県、村との三者協議「五木村の今後の生活再建を協議する場」が開催され、村議会として国道445号（九折瀬・神屋敷間）の改築工事の早期完成と県道25号宮原・五木線（八代側）の改良の早期着手、そして、平成31年からの村づくり財源支援の継続などを強く要望したところがあります。

また、このことについては、6月に蒲島県知事や岩下県議会議長にも要望いたしております。

本村の一番の課題は、人口減少と少子高齢化が進んでいることであり

ます。この課題解決のため、村は多種多様な対策に取り組んでおります。議会としても地方創生に関する特別委員会を設置して議論し、平成27年10月に策定された「五木村まち・ひと・しごと創生総合戦略」の実現に向けて積極的に取り組むよう執行部に強く求めております。

村議会は行財政運営の批判と監視、具体的な政策の最終決定など、議会の持つ使命を達成するため、地域住民と対話を重ね、住民福祉の向上と地域社会の発展を目指して積極的に努力する決意でありますので、今後とも皆様方のご指導ご鞭撻をよろしく願います。

最後に、新しい年が皆様方にとって、素晴らしいものになりますようご祈念申し上げます、新年のご挨拶いたします。



こんなことが決まりました

旧東小跡地周辺の利活用 木材流通センター設立へ出資

水没予定地東部エリア（旧東小跡地周辺）の利活用に
伴い、建築工事監理業務及び総合的な監修業務の委託費、
工事請負費及び備品購入費に4億365万円。
また五木産材のスムーズな流通拡大を図るための組織
として「五木村木材流通センター」設立のため、730
0万円の出資が決まった。

平成29年第4回五木村議会定例会を、平成29年12月12日から14日までの3日間開催した。

「諮問」1件、「人事」1件、「条例改正」5件、「指定管理者の指定期間の変更」1件、「財産の処分」1件、「工事請負変更契約」1件、「補正予算」6件、「議員提案」1件の合計17件について審議。
一般会計補正予算については1番岡本精二議員による反対討論が行われ、賛成4・反対3で可決した。

《諮問》

○人権擁護委員候補者の推薦
辻 篤子さん（頭地）

《人事》

○五木村固定資産評価員の選任
山村光代（住民税務課長）

《条例改正》

○五木村一般職の職員の給与に関

する条例の一部を改正する条例

○五木村一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例

○職員の子育休休業等に関する条例の一部を改正する条例

○五木村行政手続条例の一部を改正する条例

○五木村移動通信用鉄塔の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

《指定管理者の指定期間の変更》

○林業センターの設置及び管理に関する条例廃止に伴う、指定管理者の指定期間の変更

《財産の処分》

○分収契約満了に伴う立木売買

《工事請負変更契約》

工事名

（仮称）水没予定地東部エリア造成工事（その1）

契約金額
当初 77,328,000円
変更 76,034,377円
減額 1,293,623円
契約の相手
株式会社 技建日本

《議員提案》
○道路事業予算の総額確保等に関する意見書の提出

《補正予算》

（単位：千円）

会 計 名	補正前額	補正額	予算現額
一 般 会 計	2,794,945	547,705	3,342,650
国民健康保険特別会計	192,607	1,263	193,870
簡易水道事業特別会計	20,721	583	21,304
介護保険特別会計	215,460	△7,076	208,384
後期高齢者医療特別会計	22,919	299	23,218
情報通信事業特別会計	33,953	300	34,253

主な一般会計補正予算（12月定例会）

（単位：千円）

財政調整基金費	林業振興基金積立金（村有林の売り払いによる歳入分）	21,429
企画費	水没予定地東部エリア建築工事監理業務委託料	10,132
	水没予定地東部エリア総合監修業務委託料	1,059
	水没予定地東部エリア建築工事	340,477
	水没予定地東部エリア整備備品購入	51,988
諸費	分収造林立木売払収入地主支払金	6,794
	分収造林間伐材売払地主支払金	7,400
生活交通対策費	地方バス運行等特別対策補助金	18,528
林業振興費	五木村木材流通センター設立出資金	73,000
林道開設費	林道八重線開設工事	14,000
道路維持費	村道梶原線道路改築工事（東部地区）	13,300

第6回臨時会

平成29年第6回五木村議会臨時会を、平成29年10月24日開催した。「専決処分の承認」1件、「条例の一部改正」1件、「工事請負契約の締結」2件の計4件について審議の結果、原案のとおり可決した。

《専決処分の承認》

○一般会計補正予算の専決処分について

《条例の一部改正》

○五木村長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例

《工事請負契約の締結》

○アナログ無線老朽化に伴う、防災行政無線同報系デジタル化一次整備工事
 契約金額
 167,443,200円
 契約の相手
 日建電設株式会社 人吉支店

主な一般会計補正予算

（単位：千円）

衆議院議員選挙費	時間外勤務手当	2,193
	投票管理者・立会人等費用弁償	736
保健衛生総務費	保健福祉総合センター給水加圧ユニット取替修繕料	789

○林道八重線開設工事
 契約金額
 58,536,000円
 契約の相手
 株式会社 技建日本



スポーツエキスパートの育成は

和田村長 村で確保出来ればと思う



早田吉臣 議員

質問 学校教育の教育成果が見え始めている。今どのように認識されているか。

教育長 学校の先生方の頑張りや支援員を3人。五木ならではの教育を実践しているのが向上していると捉えている。

質問 教育長の答弁を聞かれ、村として、村づくりにどのような形で捉えられているか。

村長 夏休みの集中講座や支援員の活動、終業時から下校までの時間の指導などで効果が上がっていると認識している。

質問 学校教育が成果を見せているので人口減少と高齢者の生きがい対策、社会

教育と地域づくりと一体化した村づくりは、考えられないか。

村長 五木ならではの特色を出すためにはもう一歩踏み出す必要があると考える。総合教育会議などで話題になるので、皆さんと知恵を出し模索していきたい。

質問 地域でプロスポーツの選手を育てる指導者をつくり社会教育と反映させていくことは考えられないか。

村長 五木村では少人数の競技、個人競技になると思っているので、指導者に協力隊などに就いてもらい3年の任期で終わることなく指導を続けてもらいたい。

教育と地域づくりと一体化した村づくりは、考えられないか。

住民健診と高齢者介護について

質問 住民健診の受診率と医療費のこれまでの状況はどうなっているか。

保健福祉課長 住民健診は、県内でも受診率1位。医療費は、一人当たり46万47万円くらい、県下で上から4位。その中のガンの治療費が27%精神科が19%となっている。後期高齢者の一人当たりの医療費は78万3964円で県下45町村のうち44位となっている。

質問 受診後のアフターケアの対応はどのようになっているか。

保健福祉課長 保健師がマンツーマンで訪問して熱心に指導しながら対応しているが後々の病院受診に繋がらない場合がある。

質問 高齢者の認知症について現在の状況をどのように把握され、対策を考えられているか。

保健福祉課長 レセプトや医者からの意見書、訪問な

どで判断している。今年度中に認知症初期集中支援チームといった組織を立ち上げる予定。

質問 家族や地域の認知症への理解と協力が必要となるがそのアプローチはどのような行っているか。

保健福祉課長 援助、支援が必要な方の名簿を持ち災害時などの対応を消防団の方に情報を共有し丁寧に行わなければならないと考えている。

質問 その情報データは個人情報として取扱い異変があった場合、村長にも報告はされているか。

村長 年度まとめて、あるいは半年ごと、または特徴的なことがあると口頭で報告を受けている。



サッカーの練習試合風景



藤本新一 議員

川辺川ダム問題を総括し文書化しては

和田村長 総括は必要で取り組みたい

基準妥結を受け水没団体との交渉が先行し、用地取得にも手間取る中で進められたことである。引き続き村の振興については、県の責任に変わりないと思っ

ている。
質問 ダム関連事業に伴い村民の就業形態では建設業で働く方が多くなり農産物の生産にマイナス面が出ている。今は建設関連事業が少なくなる中で農産物の生産に取り組みが出来るにくい状況にある問題をどう考えているか。
村長 五木村の所得構造が大きく変わった。建設業の事業量が少なくなっていく中で、農業、林業に転換しようと思ってもなかなか出来ない問題もあり、国、県の責任は大きいと思う。

質問 川辺川ダム事業は長い年月で我村に与えている影響は大きい。国、県の職員もダム問題を十分に理解されない状況にあり、ダム問題を総括文書化して国、県の責任を求める村長の考えは。

あるがダム問題を十分理解されていない。また、下流域の市町村長、住民の方も我村が苦渋の選択したこと

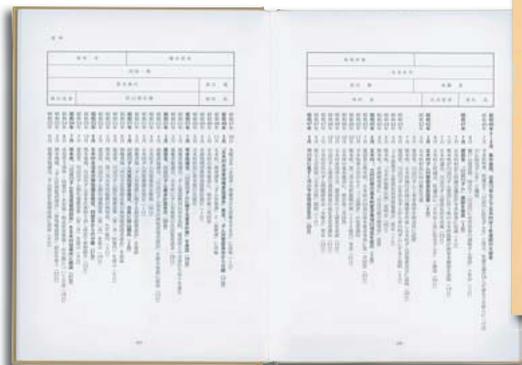
する資料になる。早い総括が必要ではないか。
村長 私としては総括ではなく経過だと思う。ダム問題は継続をしていると考えており、議会とも相談し取り組み

村長 総括的な資料としては「川辺川ダムと五木村、苦難な半世紀を振り返る」があり、関係機関に送付して実情を知っていただくことをやっている。

村長 下流域の住民の方の意識や、県の当初の職員も入れ替わりにより認識が変わっている。県の新人職員のダム問題研修もやっている。来年くらいに編纂委員会的なものを作りたい。

質問 ダム問題で何を損し、何を得たのかを明確にすべき。「立村計画基本的要求事項」55項目の中で「村外に移転させず村内に移転する」要求を、県は起業側に立って村外移転を進め大きく人口流出をさせた責任は大きい。村長の考えは。
村長 この問題は水没補償

問題を含めていくためにも30年度には着手したい。





「ふるさと五木村づくり計画」 終了後の財源確保は

和田村長 県の財政も厳しい中、ここ1年間で勝負。
最大の努力が必要



中村俊也 議員

質問 平成21年度よりスタートした「ふるさと五木村づくり計画」の、目標に対する達成率は。

村長 最終年度に近づきつつある中で、達成はできていない。村民の皆さんが満足いただこうなレベルまで引き上げていく必要があると考えている。

質問 スタート当初、村民も大きな期待感を持っており、説明会やアンケート等を通して様々な意見や切実な要望が数多く出された。村の振興に対する住民アンケートを見ると、「実感がある」が45%、「実感がない」が13・4%、「その他」が41・6%である。「その他」の思いをどう捉えておられるか。

るか。

村長 限られた施策の中で、優先的には移住定住促進に重点を置いていたため、直接的に恩恵を受けておられない方々には実感を感じておられないのではないかと考えている。

質問 高齢者集合住宅の取り組みの進捗状況は。

保健福祉課長 昨年度実施した住民アンケートも参考にビジョンを作った。今年度、そのビジョンをもとに計画を作る準備となっている。今後、高齢者向け住宅の財源、候補地、利用料等、十分検討したい。不安を抱えておられる高齢者の方がたくさんいらっしゃるため、その思いに叶う計画にした

い。

質問 将来的に路線バスが頭地までの運行となると聞いている。頭地以外の細かい移動をどう確保していくのか。

村長 人吉球磨全体で、国土交通省の助成を受けながら「公共交通対策協議会」として体系を検討している。路線バスは人吉から頭地までとなり、支線は村のコミュニティバスで対応することが決定している。実施までに、運行形態やスクールバスとの兼ね合いなど、いくつか検討している。

質問 路線バスの経費負担としての村の支出金が年々増加しているが、新交通体制ではどうなるのか。

村長 五木村の負担はかなり軽減される見込みである。

質問 「ふるさと五木村づくり計画」が平成30年度で終了するが、その後の財源確保は。

村長 基金を造成した10億円のうち、残り約1億円あ

り、これは村の計画に切り切ることができる。その後の財源については、県に強力に要求をしていきたい。



五木村コミュニティバス



しんぎ
審議とは…
そのことについて
しらべたり考えたりして
よいか悪いかを
決めることだよ！

議会ででは計画的に
お金を使うために
予算の審議を
するんだよ！

計画的に使わないと
あつという間に
なくなっちゃうもんね

いつきちゃん

お年玉、何に使おうかな？
欲しいおもちゃもあるし
お菓子もたべたいなあ♪

どういふこと？

うんうん

つばきちゃん



村民のくらしにかかせない物事や
それに関する1年間のお金を
『予算』として出して
議会がそのお金が
本当に必要かどうか
審議するんだよ。

お金がいっぱいあれば良いけど、
つばきちゃんのお年玉みたいに
使えるお金には限りがあるよね。

うん、そうだね

計画的に
予算を組めば
お金がたりなく
ないんだね！



それで、
つばきちゃんは
何をかうか決めた？

まずはノートを買って
計画をたてようかな？

村のお金も
一緒なんだよ。

やりたいことが
いっぱいあっても
お金がかかるからねー



たりない

新成人おめでとうございます

豊永 ^{ひろたか} 浩孝さん (宮園)



新成人として、本日を迎えられることを非常に嬉しく思います。

また、これまで支援をしていただいた村民の方々や家族に感謝しています。

私は、五木を離れ京都にある林業学校に通っています。就職は京都の森林組合を考えていますが、将来的には五木に戻り林業を支えていきたいと思えます。就職すると五木に帰る機会は減りますが、別の形で村に貢献できたらと思えます。そのために、残りの学業もしっかり頑張っていきます。

石川 ^{あつや} 敦也さん (松尾野)



成人式を地元五木村で迎え、社会人として大きな一歩を踏み出すことができ大変嬉しく思うと共に、これまで支えて下さった多くの方々に感謝の気持ちでいっぱいです。

私は、現在大阪で電気関係の仕事をしております。まだまだ覚えることが沢山あり、日々勉強の毎日です。地元を離れて寂しく思うことはありますが、五木村で学んだ温かい心、コツコツ諦めず努力することを忘れずに、これからの社会人生を乗り越えていき、大人として恥ずかしくないように行動や言動などの全てに責任を持ち、一日一日を無駄にしないように毎日を大切に過ごしたいと思えます。

土肥 ^{みずき} 瑞季さん (下谷)



成人を迎えられたことに喜びを感じており、今までお世話になった家族、恩師、地域の皆様へ感謝致します。

現在私は、尚絅大学短期大学部に通っており、4月からは錦町の特別養護老人ホームで栄養士として働かせて頂きます。まだまだ勉強中であり未熟な私ですので、日々努力を怠らず励んでいきます。

今後は成人、社会人としての自覚を持ち責任ある行動をしていきます。そしていつかは、自分の出来ることで五木村に貢献していきたいです。

岩本 ^{かんゆう} 侃祐さん (栗鶴)



今回成人式を催して頂きお礼申し上げます。私は、五木分校を卒業するまで18年間五木村で育てて頂き、今は錦郵便局に勤務しています。

仕事に関わる様々な資格取得やお客様対応等勉強の日々ですが、お客様や上司・先輩方、五木村地域の皆様、恩師、友人、家族に助け支えられ、日々頑張らせて頂いています。

まだまだ未熟な私ですが、これからも新成人として恥じない言動を心掛け、今まで支えて頂いた皆様や両親に少しでも恩返し出来ればと思えます。

園田 ^{ももこ} 桃子さん (頭地)



私の大切な故郷である五木村で成人を迎えられたことを大変嬉しく思います。現在、私は熊本県立大学で英語を勉強しており、将来は英語を活かした仕事に就きたいと考えています。そして両親を海外旅行に連れて行って私が流暢に英語を話しているところを見てもらうことが目標です。成人を迎えるにあたって、両親や地域の方々に支えられてきた日々を思い起こしました。これからは、そういった恩に少しでも報いれるよう日々精進してまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願い致します。



五木の重カゴ 植物シリーズ No.8



カカツガユ (クワ科) 別名ヤマミカン

暖地に生える常緑低木で枝には鋭い刺がある。葉は互生し、長さ4～6cmの卵状長楕円形、5～6月に開花し果実は秋にオレンジ色に熟して食べられる。(図鑑より)

五木村では平瀬の下流(つがのき)で確認しているが、その他の地域では確認していない。果実は熟すると甘い。



カカツガユの葉



カカツガユの実

～お詫びと訂正～

前回のやまめ 122号で、一部字句の誤りがありました。訂正の上お詫びいたします。

(3ページ) 誤 西本久徳 → 正 西村久徳

(5ページ) 誤 2,800,000円 → 正 28,000,000円

編集 後記

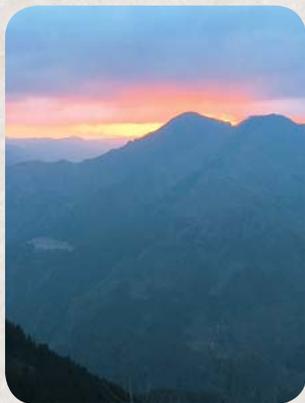
平成になり30年を迎え初日の出を写真に撮ろうと思いい、国見山の携帯電話中継鉄塔近くに早朝行ってみた。残念ながら見る事が出来なかった。

家に帰ると子供たちが「お父さんの今年の目標は何。」と問いかけてきた。「子供たちが笑顔で元気に過ごせる1年にしたい。」と答えると不思議そうな顔で、「ふうーん。」と子供は、漢字を覚える事と、料理を覚える事といってくれた。

「子供は社会の宝」と言われている。今年の五木村の成人者は、5人が減ることは数年前から予測されていた。

本当に笑い顔で過ごせる村づくりに邁進しなければと決意を新たに議会活動と議会だよりの充実に取り組まなければならないと思う新春のスタートであった。

(早田)



国見山からの初日の出

次回の定例会は3月中旬の予定です。皆様の傍聴をお待ちしております。

表紙題字：故 尾方 芳郎氏